

人物紹介コーナー・散歩道『川渕 ゆかり 副看護部長』

性暴力被害者支援などの
活動にも積極的に参画



函館中央病院(函館市)
副看護部長
川渕 ゆかり さん

副看護部長と外来師長を兼任していたが、4月から副看護部長専任になった。助産師として、日本助産評価機構認証のアドバンス助産師の資格も取得。分娩介助や妊婦健診などの実績や学会参加、研修受講等の要件と試験に合格する必要がある制度で、同病院ではハイリスク妊娠や出産、低出生体重児のケアなど助産師に求められ

る役割は大きいだけに「助産師スタッフの資格取得を推進していきたい」。

「函館・性と薬物を考える会」では幹事を務めるなど院外活動にも積極的。米国で発祥したSANE(性暴力被害者支援看護職)の養成講座が日本でも普及しており、現在受講中という。「性暴力被害による心身の傷のケアや対応法だけでなく、告訴などの法的措置に備えての証拠採取の方法なども学んでいる」と、被害者支援に備える。

函館性暴力被害防止対策協議会では、将来的にワンストップセンター(一か所で総合的支援を行える場所)の設置も目指しており、川渕さんも同病院の看護師のまとめ役として関わっている。こうした活動に積極的なのも、「元々助産師という命を扱う職業と共通するものがあるから」。函館・性と薬物を考える会のメンバーとして、中学校や高校で性教育の講師も毎年務めている。